

# 第1学年1組 美術科 学習指導案

日時 平成24年11月21日(水)

場所 出雲市立斐川東中学校 美術室

指導者 教諭 長 廻 宏 弥

## 1. 題材名「身のまわりのデザイン」「B 鑑賞(1)」

### 2. 題材の目標

普段の生活の中にはたくさんのデザインに囲まれている。その働きや工夫、存在価値について関心を持ち、デザインの多様性や美しさ、豊かさ、優しさ、楽しさなどを感じ取ること、理解すること、そして自ら構成していく力を育む美術の特性に気づき、今後さらに美術を愛好していこうする心情を育てる。

### 3. 題材の設定理由

○アンケート結果から、美術の授業が「嫌い」という生徒はごく少数という結果であった。しかし、「美術は将来の自分に役に立つか」という質問に対しては、「役に立つ」と答えた生徒がごく少数で、生徒たちにとってこの教科が生活や人生設計に関わりが少なくという認識であると言わざるを得ない。

そこで、本題材は新中学校指導要領美術第1学年 B 鑑賞(1)アを受けて設定した。身のまわりに存在するデザインを見ることによって、身近に存在し、そしてデザインに囲まれて生活している実態に気づき、デザインの働きの重要性や多様性を感じ取ること、生活と美術とのかかわりや、ものづくりの価値に気づかせることにつながり、生徒が自分の生活をより美しく心豊かにしようとする思考力や態度を育てることにつながっていく。本題材はデザインの能力を高めるだけでなく、生涯にわたって自分の生活をより美しく心豊かなものにし、美術を愛好していこうとする心情を育てることができる題材である。

○<生徒観は個人情報のため省略>

○本時では「美しさ」「豊かさ」「楽しさ」「優しさ」「多様性」など様々なデザインが存在することを「聴いて・つなげて・考える」授業によって考えさせ、「美しさ」「豊かさ」「優しさ」「楽しさ」「多様性」などと、美術という教科が深く結びついているということに気づかせたい。

### 4. 学習に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<b>関①</b> 生活の中にあふれている身のまわりのデザインの工夫について、関心を持って見たり、見つけたりしながら、よさや美しさを味わおうとしている。	<b>鑑①</b> デザインの特徴や存在意義を知り、美術が生活と深くかかわっていることに気づくことができる。

### 5. 展開

●学習のねらい◆学習活動・予想される生徒の反応	教師の支援	評価
●後のキーワードが思い浮かびやすくするため「～～さ」という言葉で、美術と関係するものを考える	美術のアンケート結果を伝える○ワークシートを配り、グループにして「～～さ」という言葉の中で美術に関係するものを挙げさせる	

- ・楽しさ ・怖さ ・恐ろしさ
- ・優雅さ ・良さ ・悪さ ・優しさ
- ・静けさ ・儂さ ・濃さ ・薄さ
- ・明るさ ・暗さ ・長さ ・短さ
- ・太さ ・細さ ・大きさ
- ・小ささ ・自分らしさ ・面白さ
- ・美しさ ・懐かしさ

●名古屋にあるオアシス21という施設について考える

◆名古屋にあるオアシス21の画像を見て、「なぜこんな施設(建物)が創られたのか？」について考え、グループで話し合い、発表する

- ・観光客が集まる
- ・心が落ち着く
- ・街に潤いをもたらす

◆「オアシス21には○○○さがある」の○○○を考える

美しさ

豊かさ

楽しさ

優しさ

他

●電子黒板の映像により、様々なデザインを見る

◆班で話し合った言葉と、今見たデザインとの関連について考える

●感想を書く

◆今日の授業で、生活・デザイン・美術のか

・作品を作るときなどに意識することに着目させるようにする

○電子黒板で画像を見せる

○オアシス21の画像を見ながら、施設の概要を伝える

○オアシスの意味について考えさせる

○なぜ存在しているのかを班で積極的に話し合いさせるように働きかける

○なぜそう考えたのかをもう一度班で考えさせるため、キーワードを考えさせる

○「どんなところからそう考えたのだろうか？」と聞く

○電子黒板を使い、身のまわりにあるデザインを提示し、デザインの多様性や美しさ、豊かさ、楽しさ、優しさについて気づかせるようにする

○いくつか出てくるデザインの例に対してキーワードのどれが当てはまるか発言させる

○これまで出てきた意見を振り返りながら自分の思いが深まるよう

**関①**

生活の中にあふれている身のまわりのデザインの工夫について、関心を持って見たり、見つけたりすることができる。

**鑑①**

デザインの特徴や

<p>かわりについて考えたことも含めて感想を書く</p>	<p>に、教師がこれまでの内容を想起させるような助言をおこなう。</p>	<p>存在意義を知り、美術が生活と深くかかわっていることに気づくことができる 【感想用紙】</p>
------------------------------	--------------------------------------	---

6. 本時の評価規準

<p>生徒の姿 評価の観点</p>	<p>十分評価できると判断される生徒の具体例</p>	<p>おおむね評価できると判断される生徒の具体例</p>	<p>努力を必要とすると判断される生徒への手立て</p>
<p>美術への関心・意欲・態度</p>	<p>身のまわりにあるデザインのよさや工夫、作者の意図に目を向け、美しさ、楽しさ、豊かさ、優しさ、多様性などを主体的に感じ取り、今後さらに意欲的に美術に関わっていこうとしている</p>	<p>身のまわりにあるデザインについて自分なりに意図を感じ取り、よさや工夫を主体的に感じ取ろうとし、今後さらに主体的に美術に関わっていこうとしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の意見を手がかりに、どうして作られた施設なのかをどの部分で感じたかなどの視点を与えて、考えさせるように促す。</li> <li>・工夫されたデザインのポイントを伝えることによってデザインの意図や工夫に関心を持つようにする</li> </ul>
<p>鑑賞の能力</p>	<p>デザインの特徴や工夫について自分の考えを伝えたり、友だちの意見も聞きながら、様々なデザインの要素を感じ取り、生活にどのように活かされているかを積極的に考えようとしている</p>	<p>友人の意見などを聞きながら、身のまわりにあるデザインの工夫や存在意義について積極的に考えようとし様々なデザインの要素に気づくことができている</p>	<p>友人との話し合いや映像から、身の回りにあるデザインには様々な要素があることを考えるように促す</p>